

2021年 中の人口の動き

～ 目次 ～

I	人口動態	1
1	概況	1
2	区別の状況	2
3	日本人・外国人別の状況	2
II	自然動態	3
1	概況	3
2	区別の状況	3
3	出生・死亡	4
III	社会動態	6
1	概況	6
2	区別の状況	6
3	転入・転出・転入超過の状況	10
	(1) 相手地域別の状況	10
	(2) 年齢別の状況	14
	(3) 年齢別・相手地域別の状況	15
IV	参考表	17
	表1 人口の動きの推移	17
	表2 月別人口の動き	18
	表3 日本人・外国人別人口の動きの推移	19
	表4 自然動態の推移	20
	後掲表	別表

利用上の注意

ここで述べる人口の動きは、住民基本台帳法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。（平成24年（2012年）7月8日までは外国人登録法の規定に基づく届出を含む。）

「自然動態」とは、一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きであり、「社会動態」とは、転入・転出に伴う人口の動きである。これらの自然動態と社会動態を合わせた人口の動きを「人口動態」という。

また、グラフ上、死亡数・転出数を負の値として表示しているものがある。

用語の解説

人口増減数＝自然増減数＋社会増減数

自然増減数＝出生数－死亡数

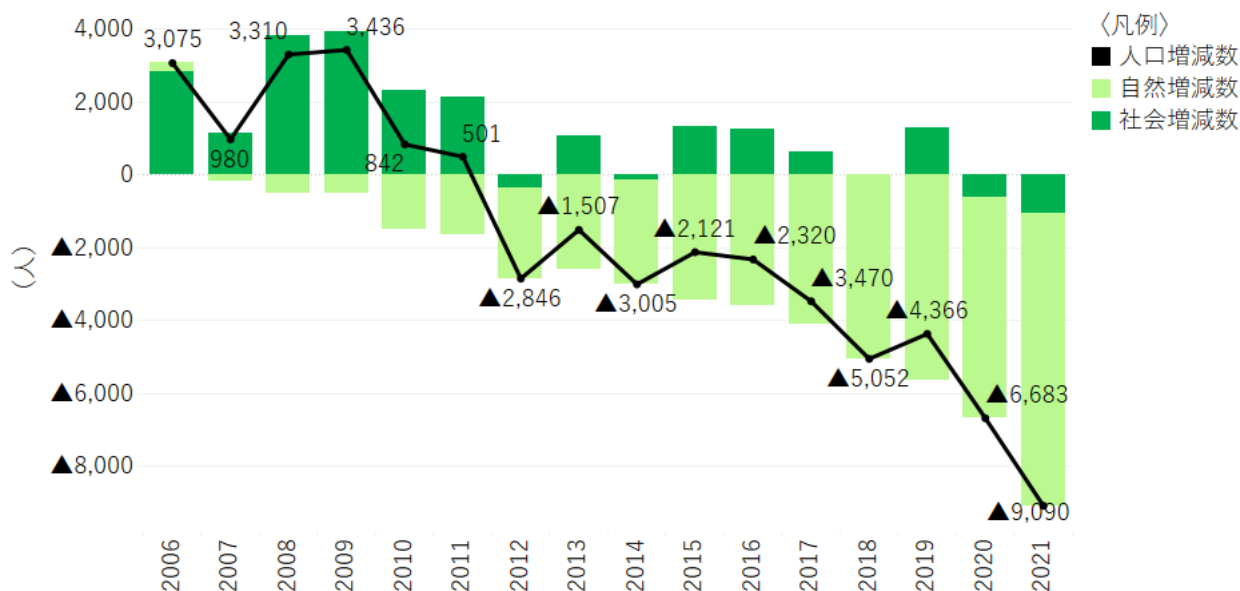
社会増減数＝社会増（転入、その他の増）－社会減（転出、その他の減）

I 人口動態

1 概況

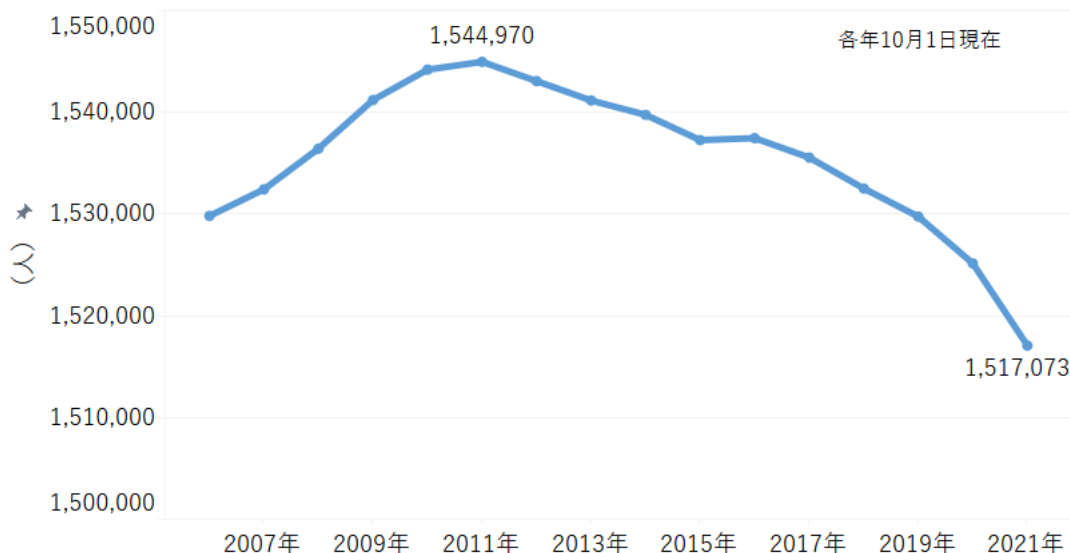
- 人口増減数は 9,090 人の減少で 10 年連続の人口減少。
- 自然増減数は 8,026 人の減少。
- 社会増減数は 1,064 人の減少。

図1 人口増減数の推移



資料：IV参考表「表1 人口の動きの推移」

図2 推計人口の推移

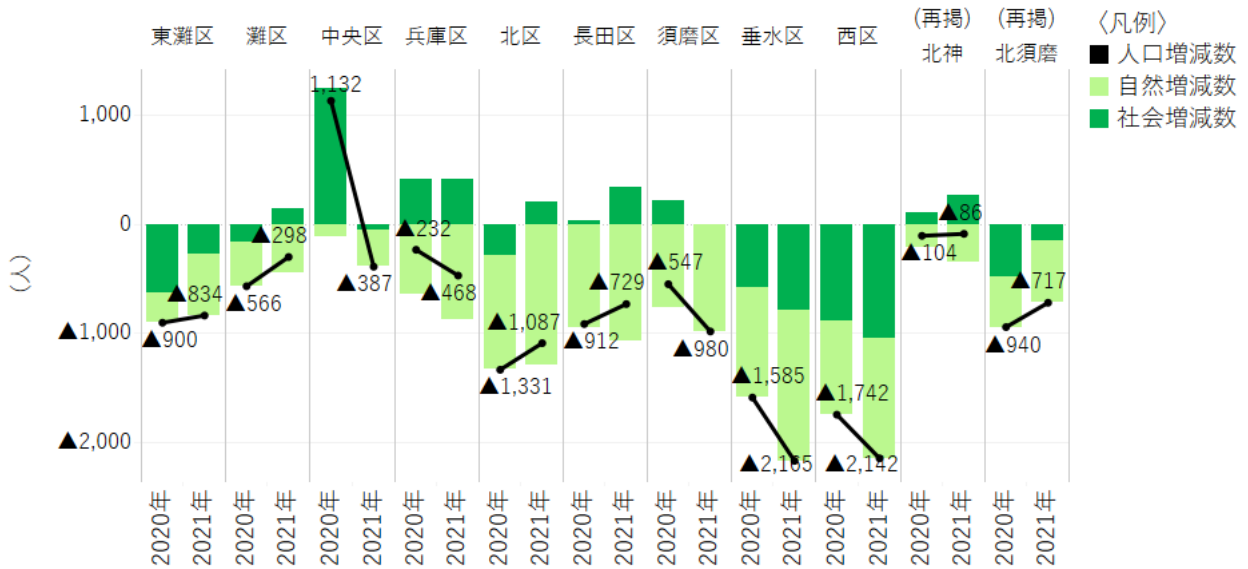


注) 2006年～2009年、2011年～2014年、2016年～2019年は、それぞれ2005年、2010年、2015年、2020年の国勢調査結果（確定数）に基づき補間補正した人口により算出している。よって、住民基本台帳上の人口の増減とは一致しない。

2 区別の状況

- すべての区で人口減少となった。
- 中央区は人口増加から人口減少に転じた。
- 人口減少幅が縮小した区は東灘区、灘区、北区、長田区。対して兵庫区、須磨区、垂水区、西区は減少幅が拡大した。

図3 区別、人口増減数

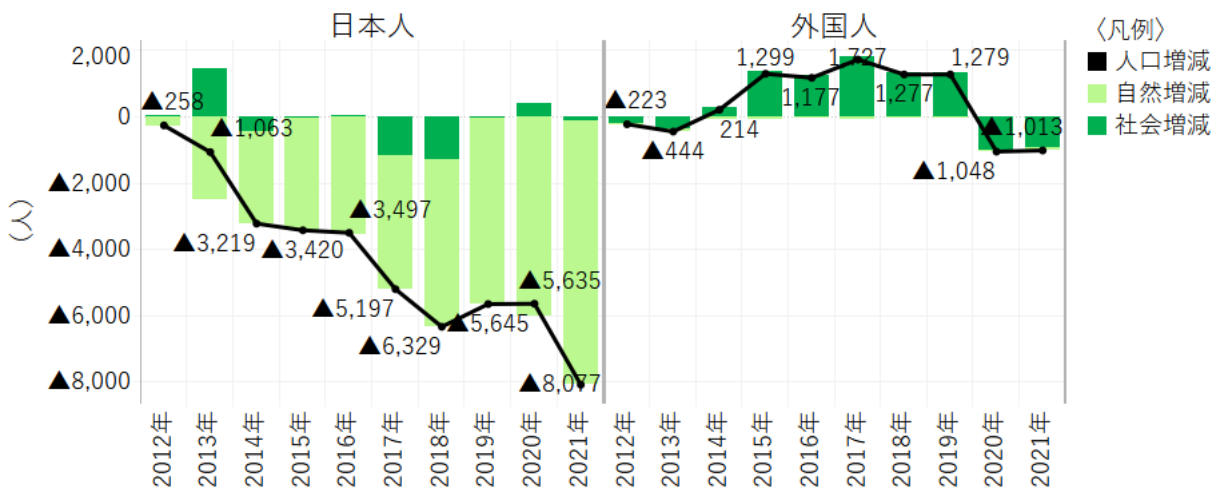


資料：IV参考表「表1 人口の動きの推移」

3 日本人・外国人別の状況

- 人口増減数は日本人が8,077人の減少、外国人が1,013人の減少。
- 自然増減数は日本人が7,953人の減少、外国人が73人の減少。
- 社会増減数は日本人が124人の減少、外国人は940人の減少。

図4 日本人・外国人別、人口増減数の推移



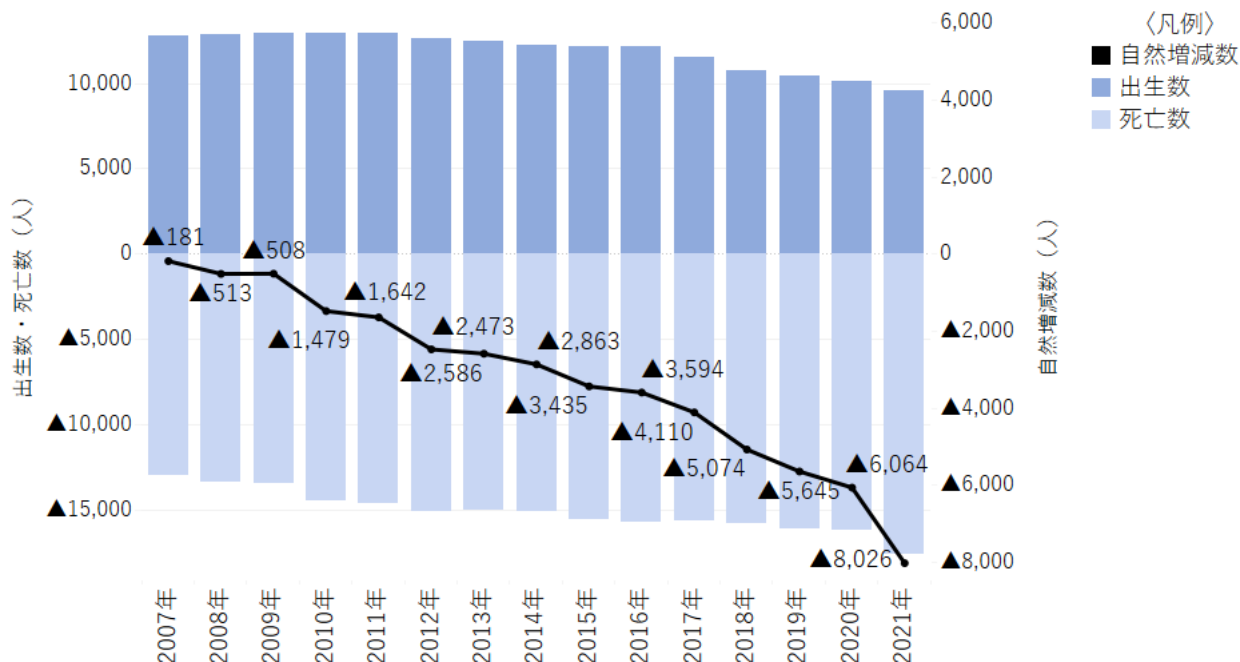
資料：IV参考表「表3 日本人・外国人別人口の動きの推移」

II 自然動態

1 概況

- 自然増減数は 8,026 人の減少で、15 年連続の減少。
- 出生数は 9,537 人、前年より 563 人減少。
- 死亡数は 17,563 人、前年より 1,399 人増加。

図5 自然増減数の推移

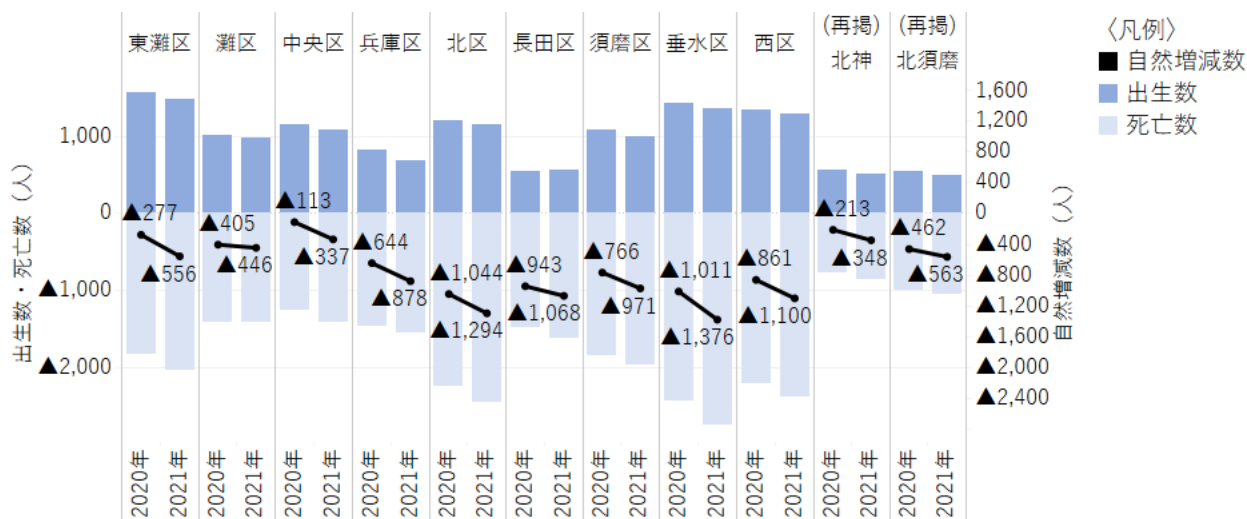


資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

2 区別の状況

- 全ての区で自然減少。
- 自然減少数が最も大きかったのは垂水区、次いで北区。
- 全ての区で自然減少数が前年より拡大した。

図6 区別、自然増減数

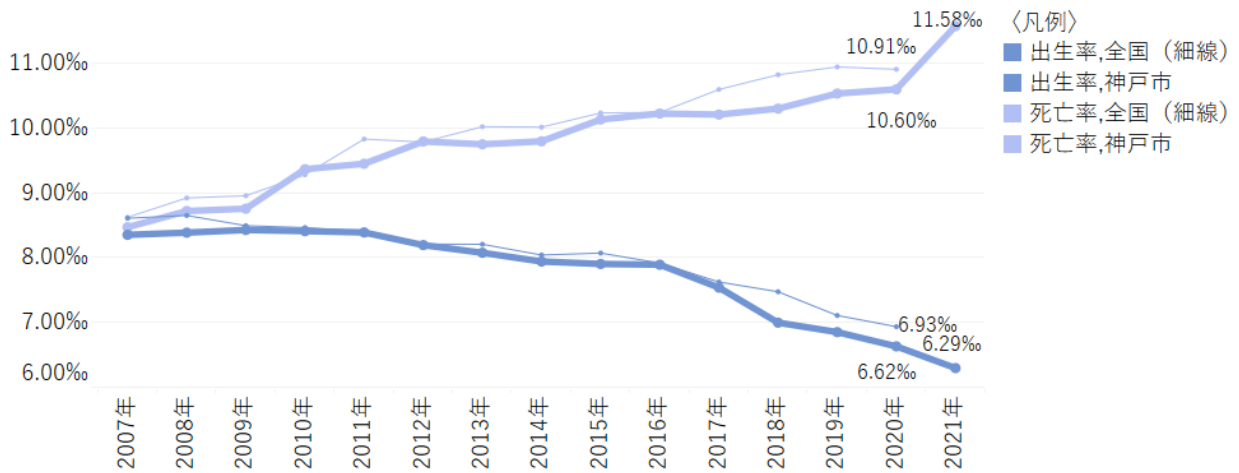


資料：後掲表「第2表 区別人口動態の推移」

3 出生・死亡

- 出生数は 9,537 人、前年より 563 人の減少。死亡数は 17,563 人で、前年より 1,399 人の増加。
- 出生率は 6.29‰、前年より 0.33 ポイントの低下。死亡率は 11.58‰で、前年より 0.98 ポイントの上昇。
- 出生率が最も高い区は中央区、次いで灘区。対して最も低い区は西区、次いで北区。
- 死亡率が最も高い区は長田区、次いで兵庫区。対して最も低い区は中央区、次いで東灘区。

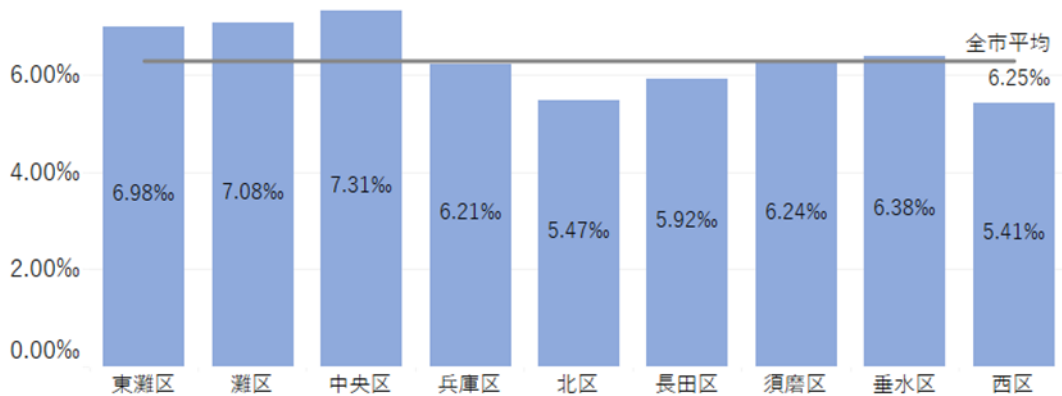
図7 出生率・死亡率の推移



注) 2016 年以降の全国の出生率と死亡率は、2020 年の国勢調査結果による補間補正值が未公表のため、補間補正前の数値により算出。

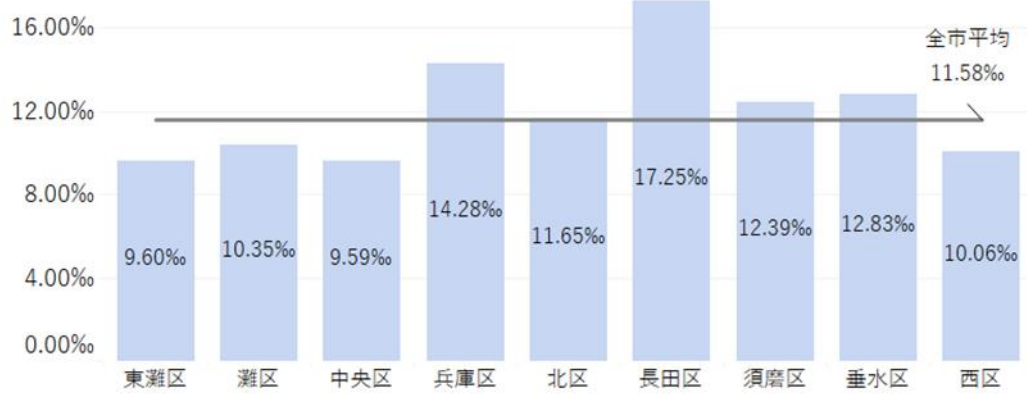
資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」、総務省統計局「人口推計月報」（全国）

図8 区別、出生率



資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

図9 区別、死亡率



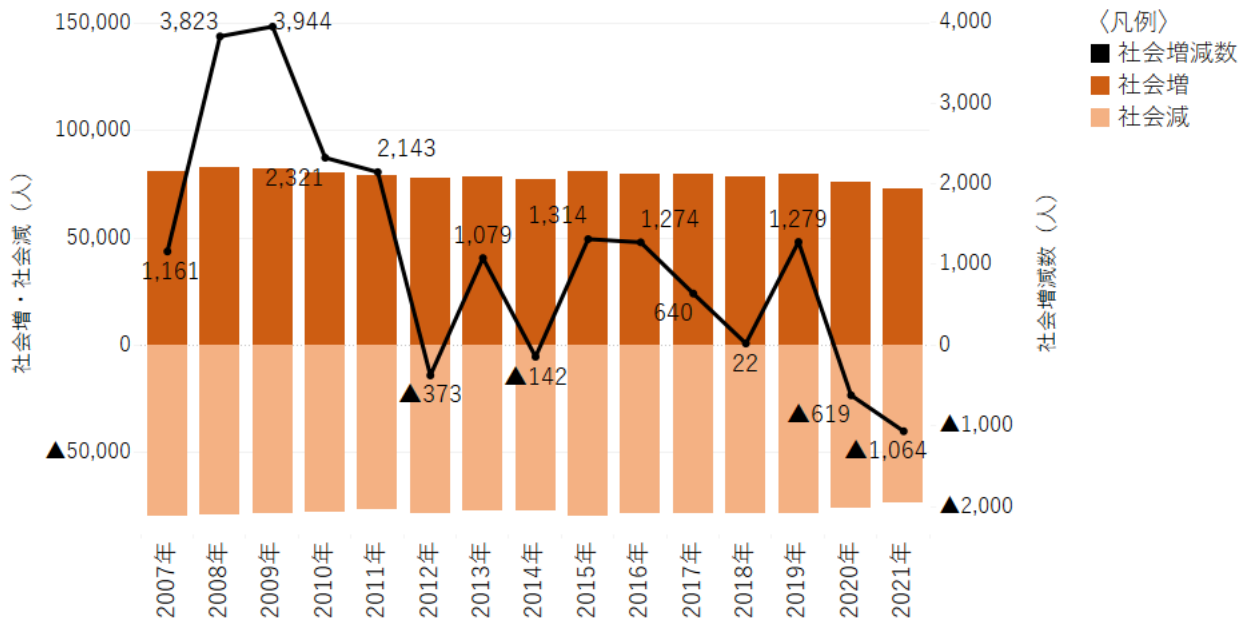
資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

III 社会動態

1 概況

- 社会増減数は1,064人の減少で前年に引き続き社会減少。
- 社会増は72,529人で前年より3,077人減少。うち、市外からの転入数は46,734人で前年より1,824人減少
- 社会減は73,593人で前年より2,632人減少。うち、市外への転出数は46,491人で前年より1,142人減少。

図10 社会増減数の推移



資料：後掲表「第1表 人口の自然動態及び社会動態」

2 区別の状況

- 社会増加となった区は灘区、兵庫区、北区、長田区。
- 灘区と北区は前年の社会減少から社会増加に転じた。対して中央区と須磨区は社会減少に転じた。

図11-1 社会増減数の推移（東灘区）

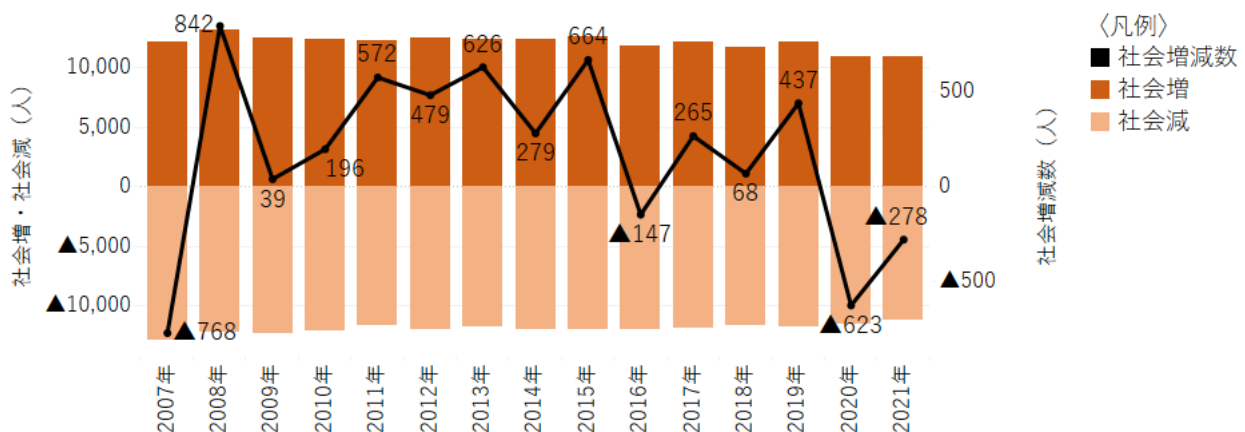


図11-2 社会増減数の推移（灘区）

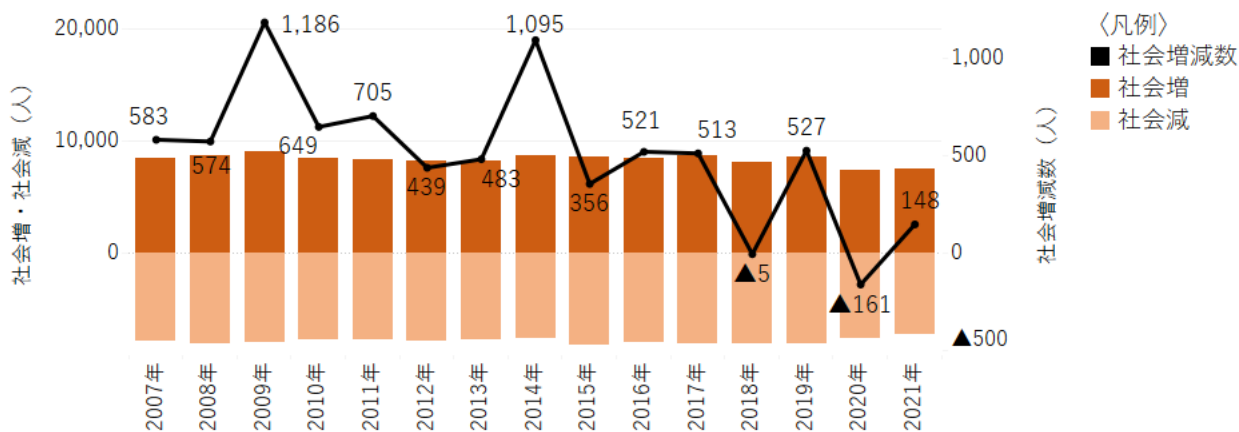


図11-3 社会増減数の推移（中央区）

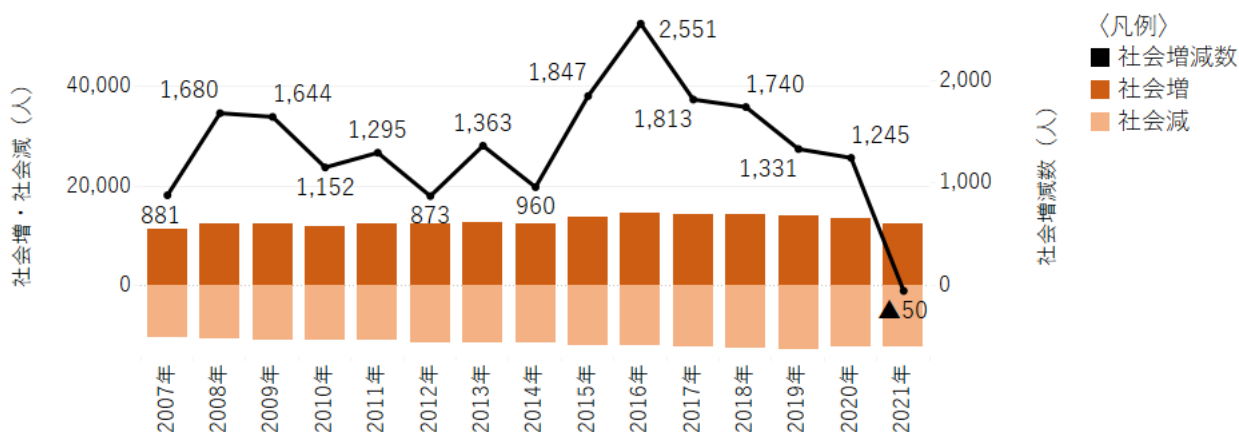


図11-4 社会増減数の推移（兵庫区）

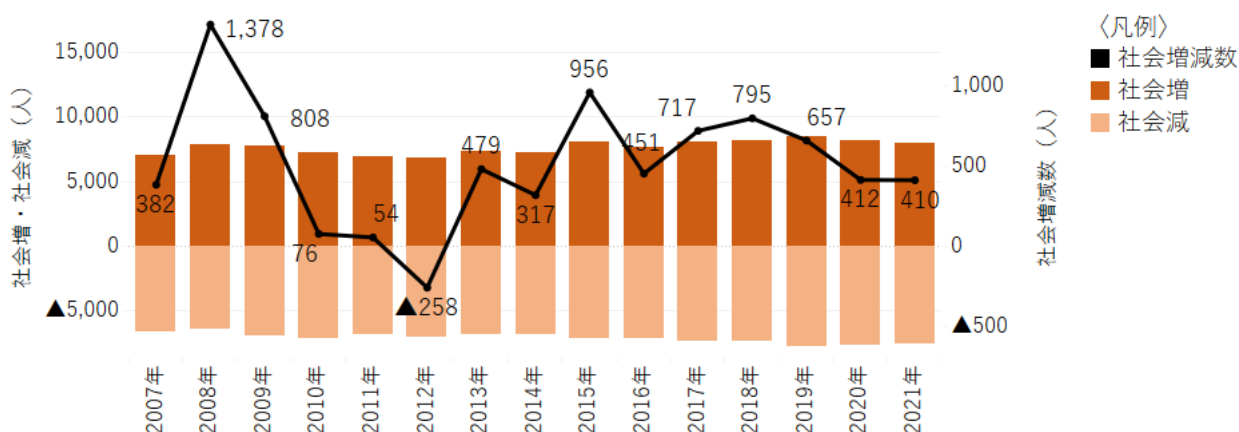


图11-5 社会増減数の推移（北区）

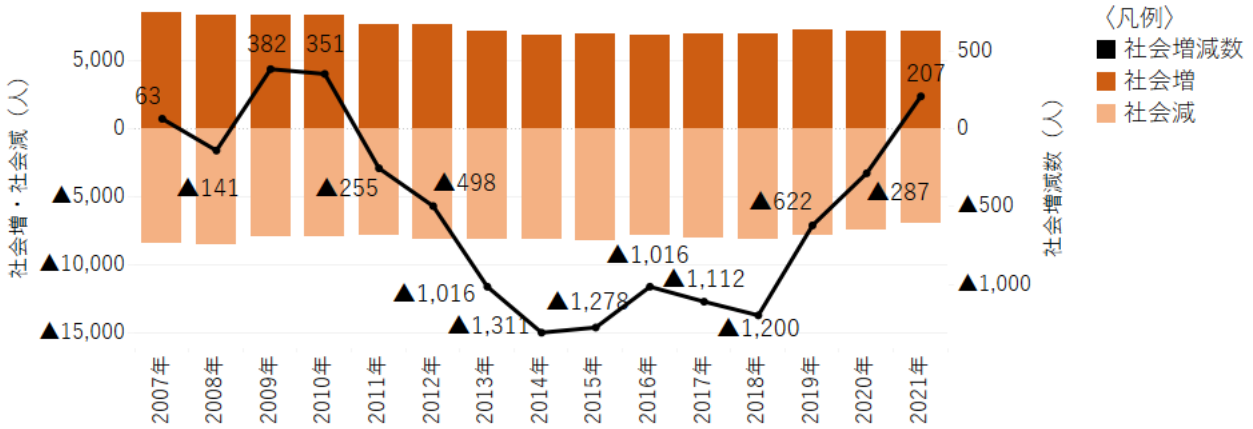


图11-6 社会増減数の推移（北本区（左図）・北神（右図））

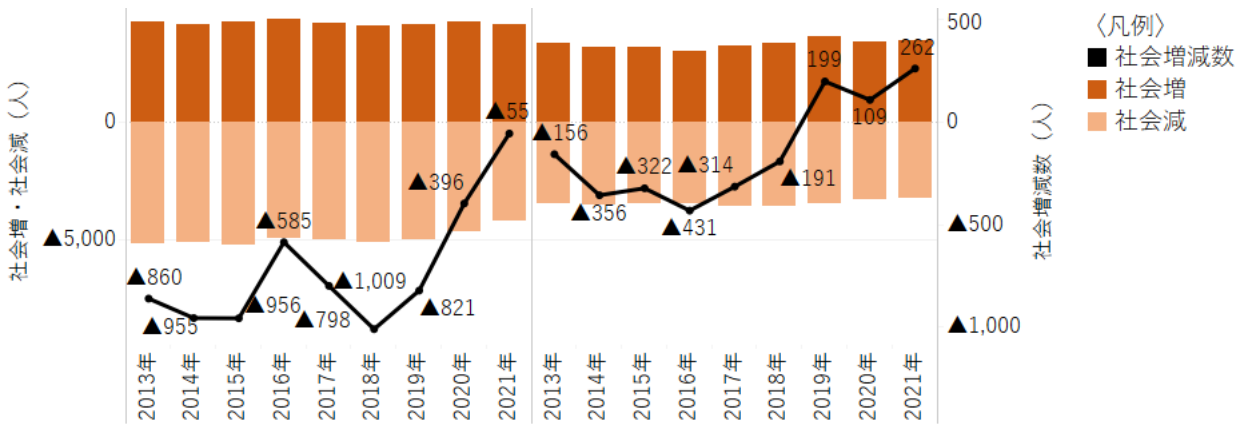


图11-7 社会増減数の推移（長田区）

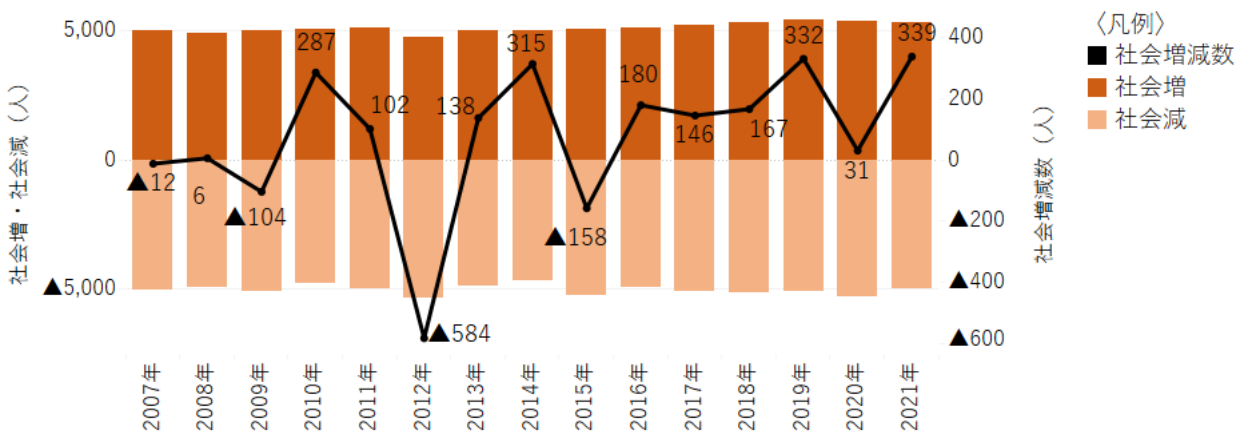


图11-8 社会増減数の推移（須磨区）

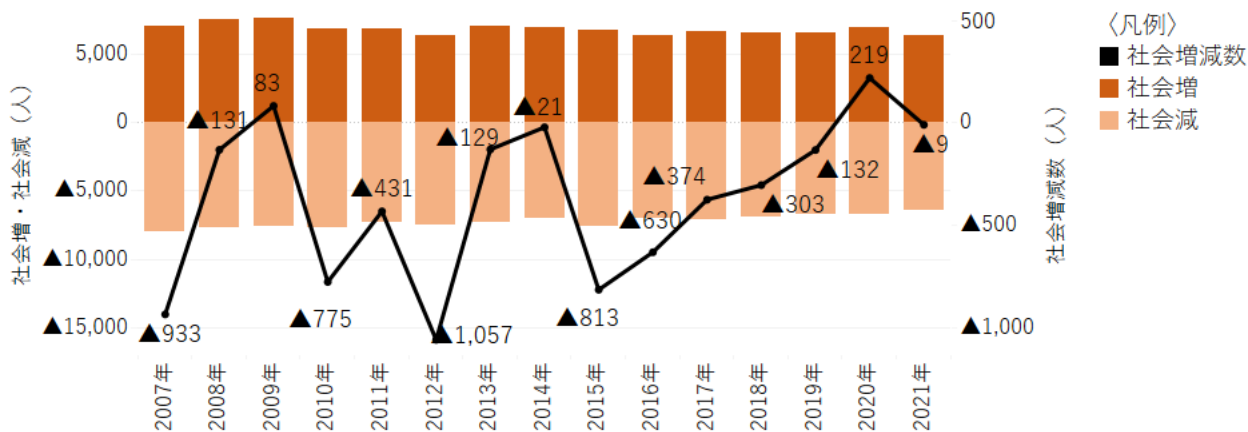


图11-9 社会増減数の推移（須磨本区（左図）・北須磨（右図））

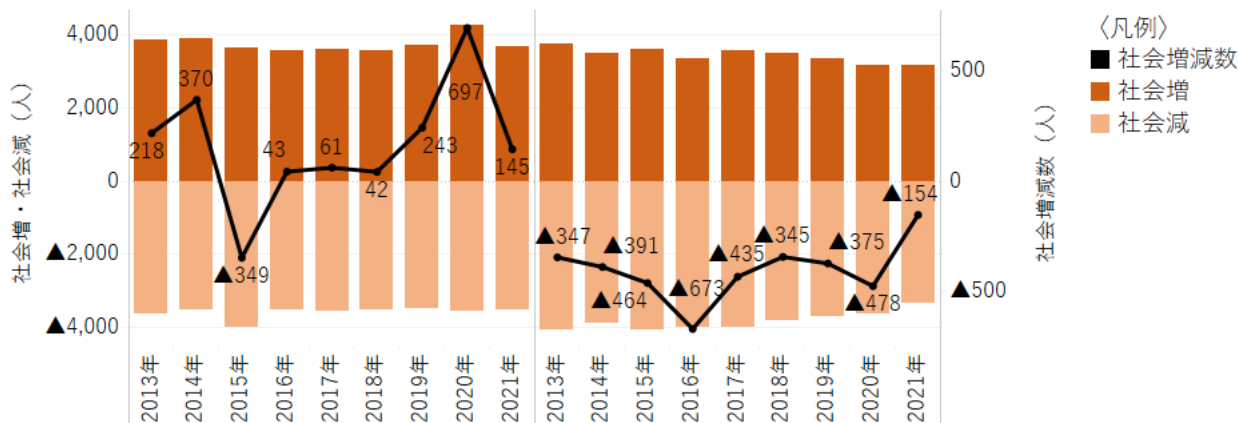


图11-10 社会増減数の推移（垂水区）

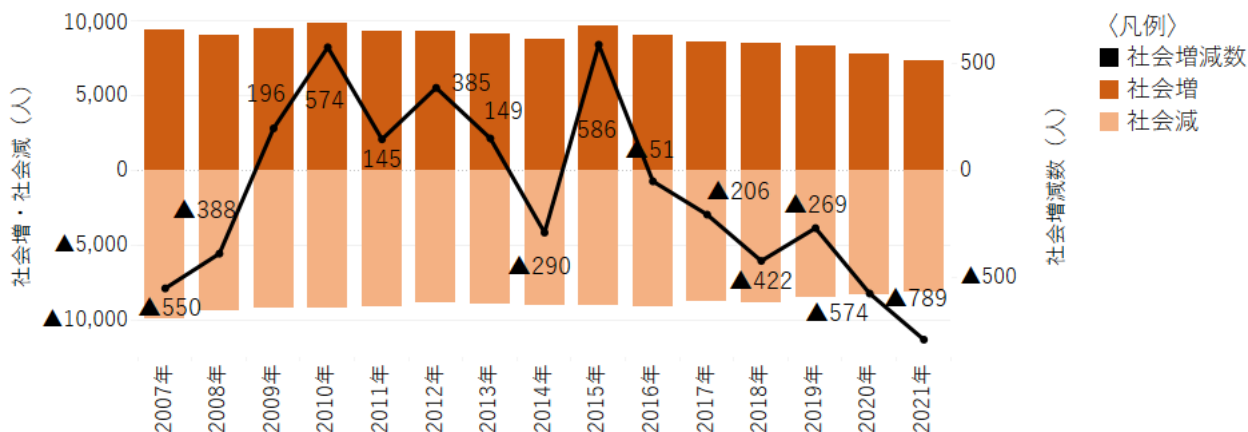
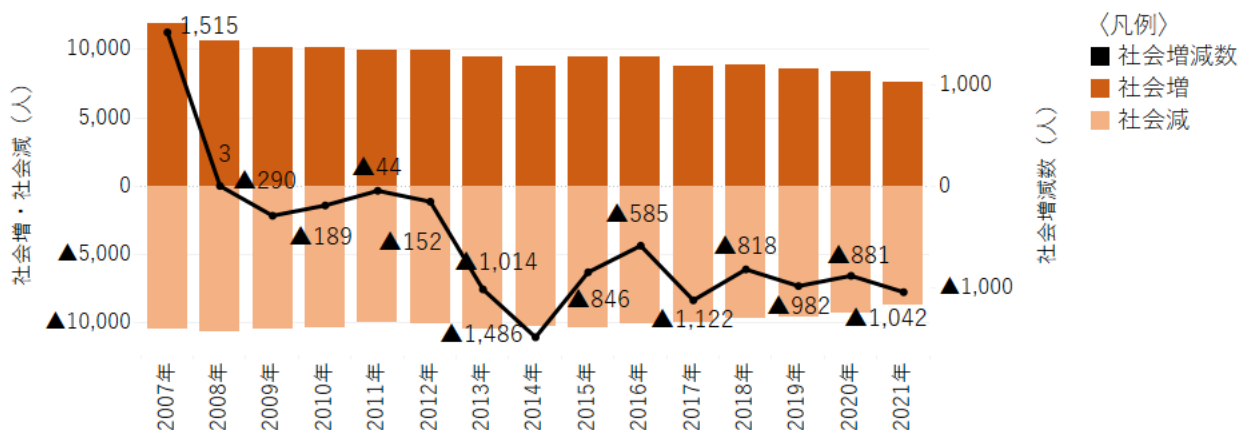


図11-11 社会増減数の推移（西区）



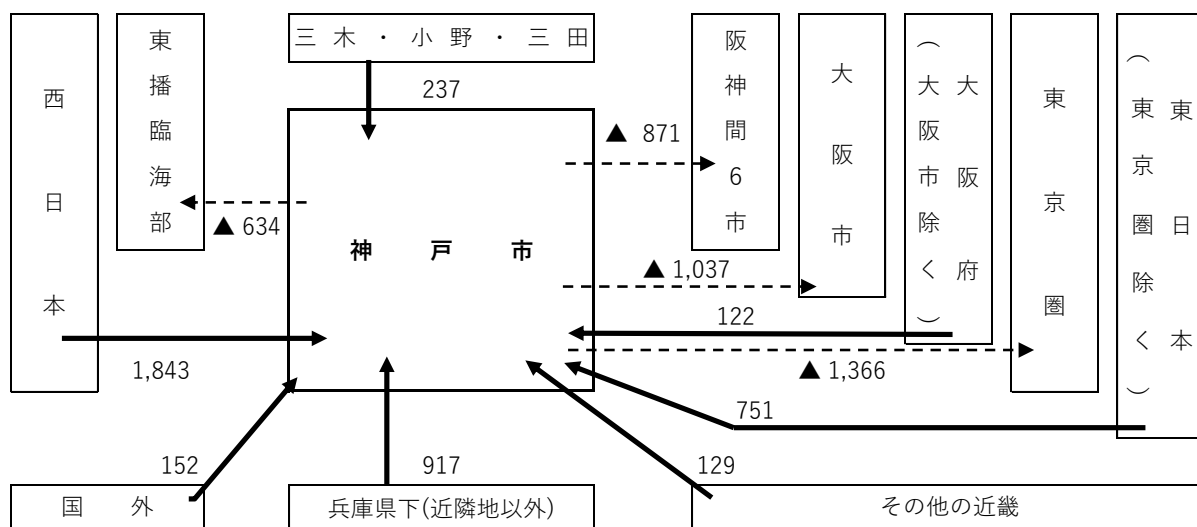
資料：後掲表『第2表 区別人口動態の推移』（図11-1~11）

3 転入・転出・転入超過の状況

(1) 相手地域別の状況

- 転入超過だった地域は三木・小野・三田、兵庫県下（近隣地以外）、大阪府（大阪市除く）、その他の近畿、東日本（東京圏除く）、西日本、国外。
- 転入超過数が前年より拡大した地域は兵庫県下（近隣地以外）（151人拡大）、大阪府（大阪市除く）（279人拡大）、東日本（東京圏除く）（491人拡大）、西日本（237人拡大）。対して縮小した地域は、三木・小野・三田（190人縮小）、その他の近畿（268人縮小）、国外（1,944人縮小）など。
- 東京圏への転出超過数は前年より479人縮小。

図12 相手地域別転入超過数（2021年）



※阪神間6市…芦屋市，西宮市，宝塚市，尼崎市，伊丹市，川西市

※東播臨海部…明石市，加古川市，高砂市，加古郡

※東京圏…埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

資料：後掲表「第5表 区、相手地域別転入超過数」

図13-1 転入超過数の推移（阪神間6市）

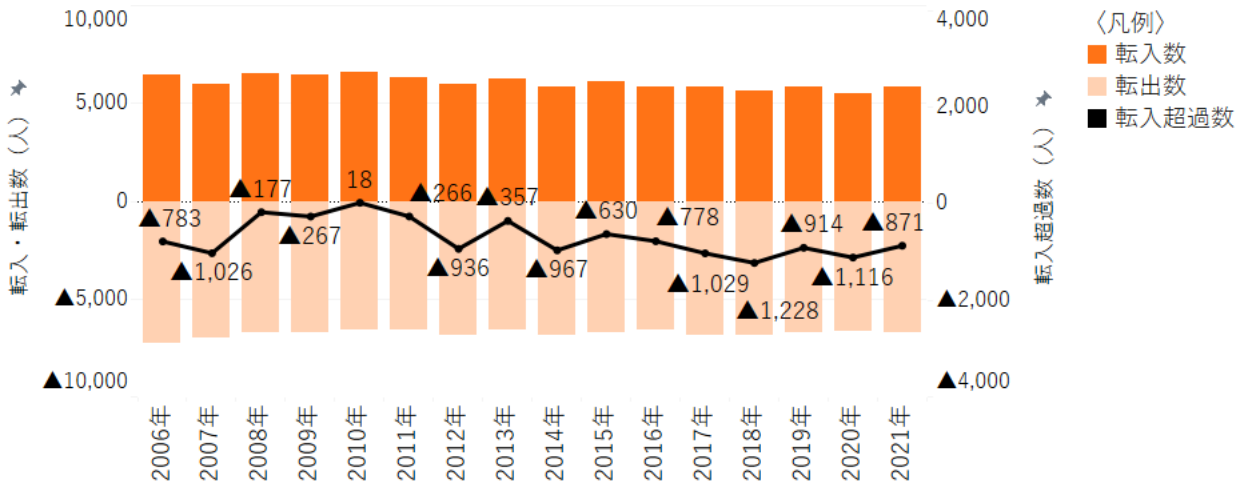


図13-2 転入超過数の推移（東播臨海部）

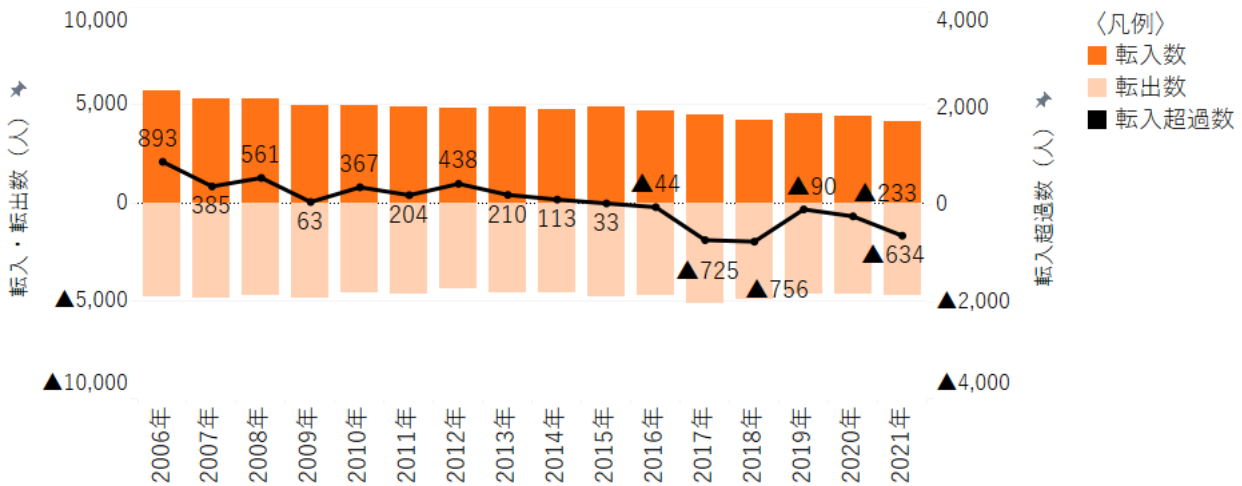


図13-3 転入超過数の推移（三木・小野・三田）

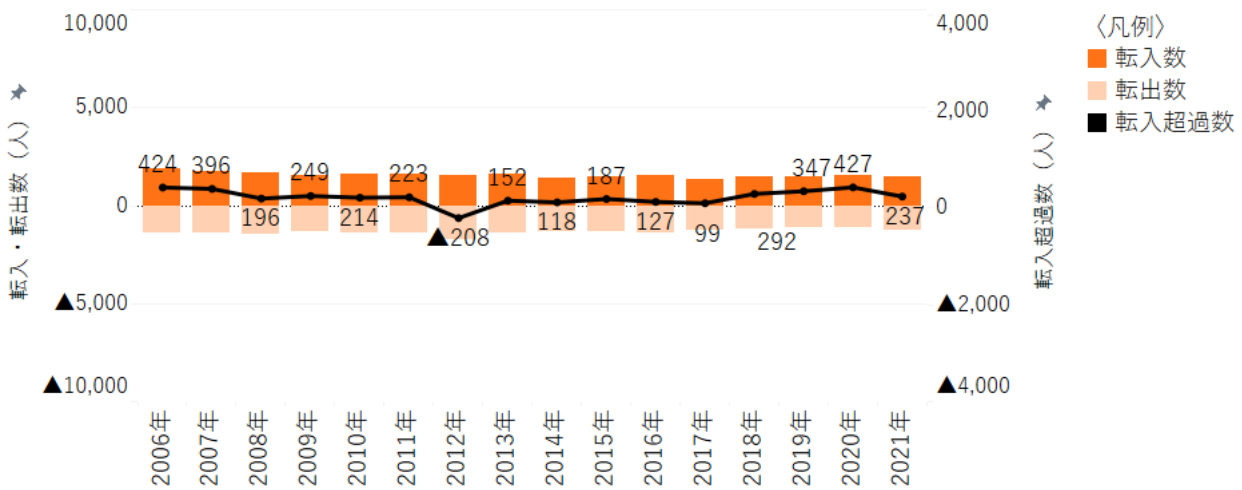


図13-4 転入超過数の推移（兵庫県下（近隣地以外））

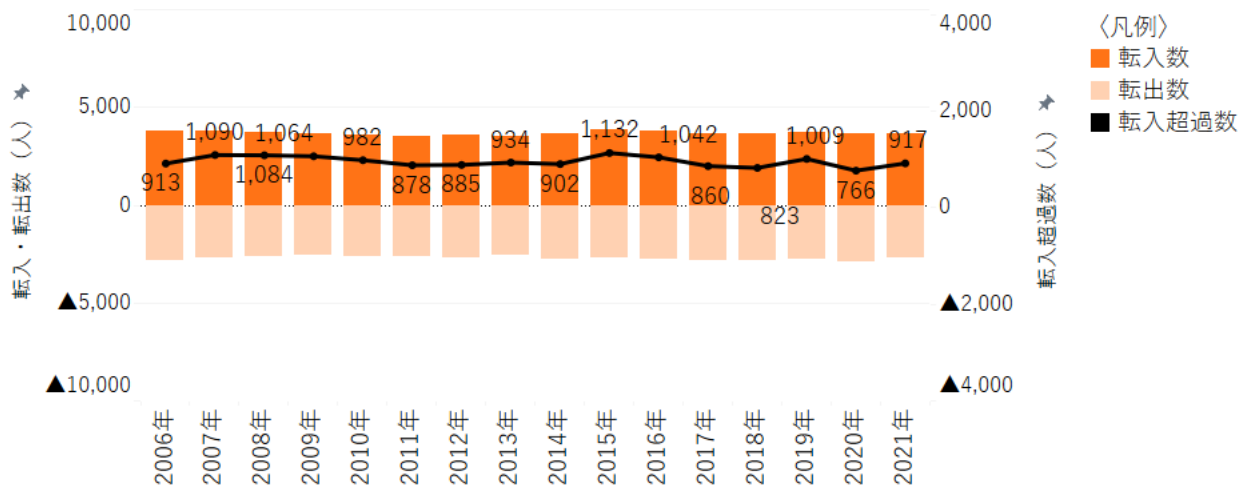


図13-5 転入超過数の推移（大阪市）

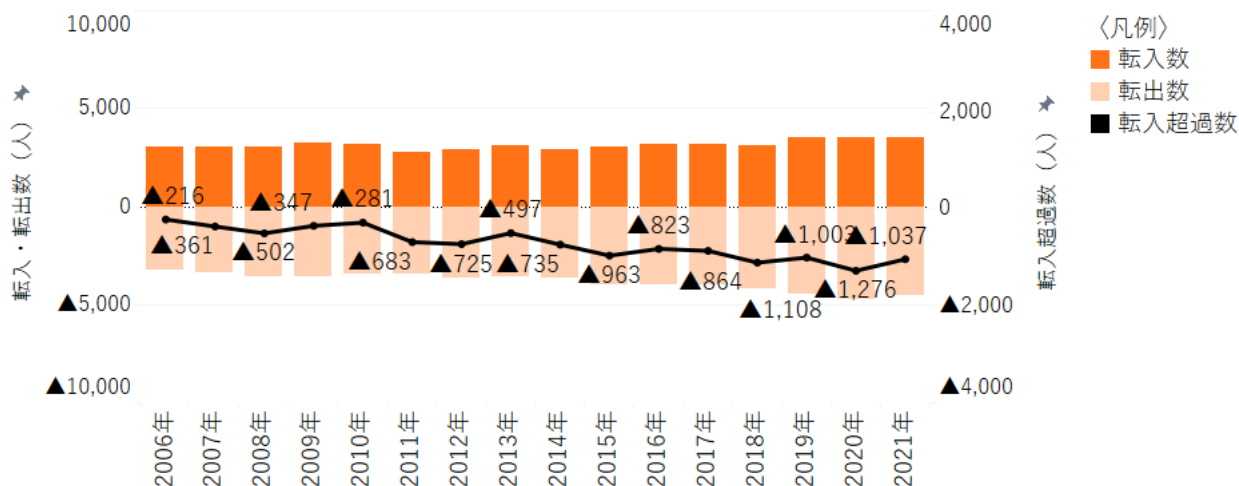


図13-6 転入超過数の推移（大阪府（大阪市除く））

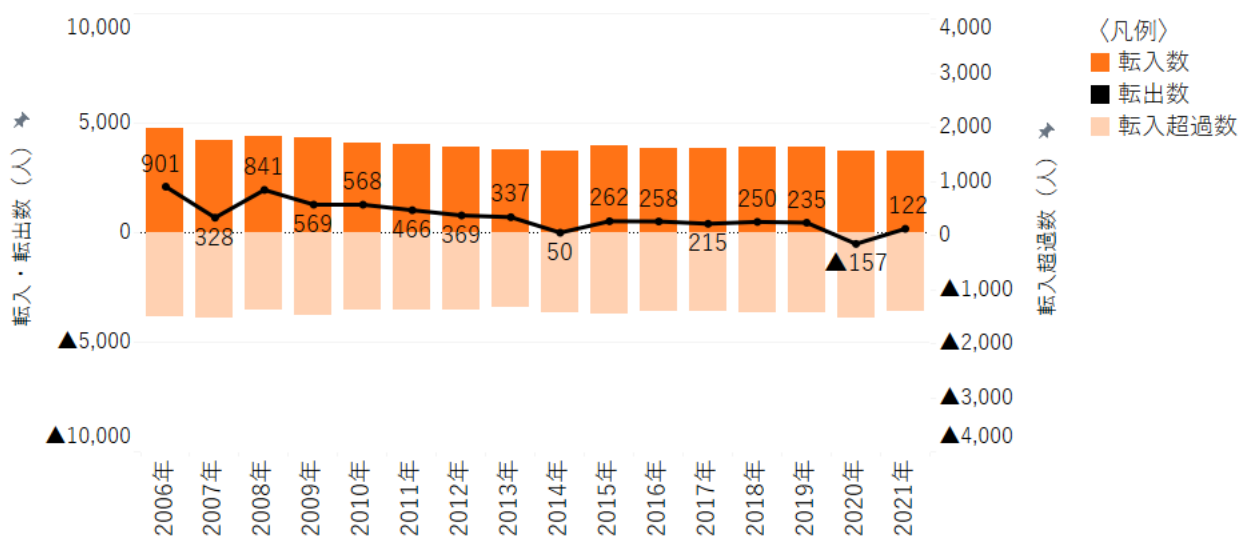


図13-7 転入超過数の推移（その他の近畿）

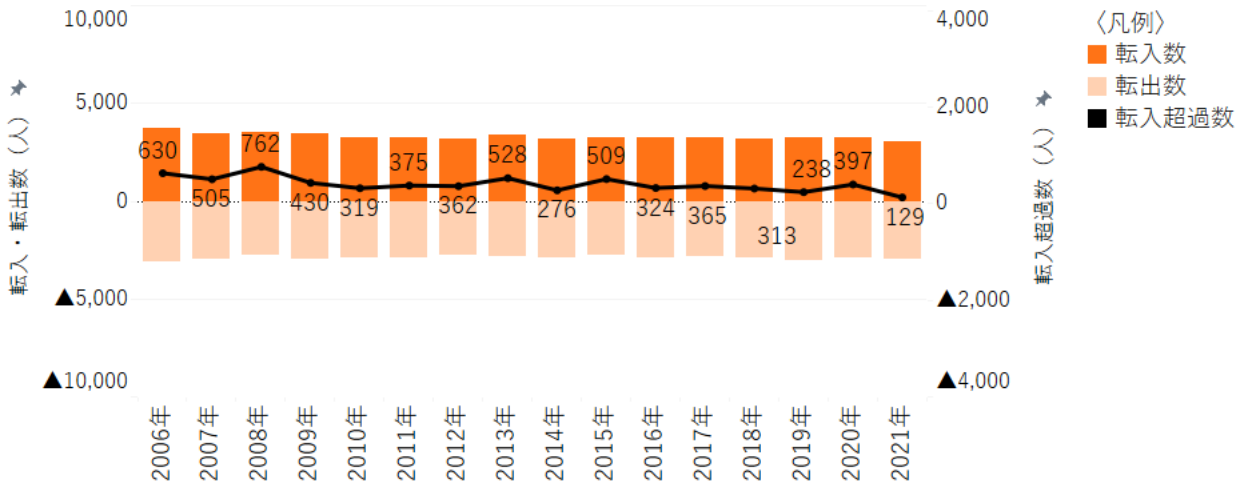


図13-8 転入超過数の推移（東京圏）

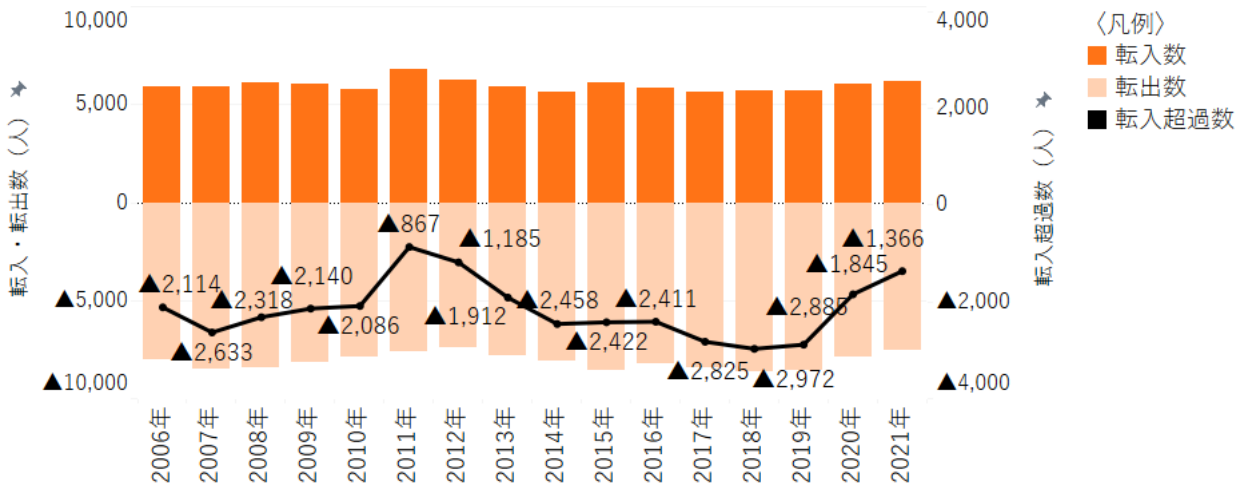


図13-9 転入超過数の推移（東日本（東京圏除く））

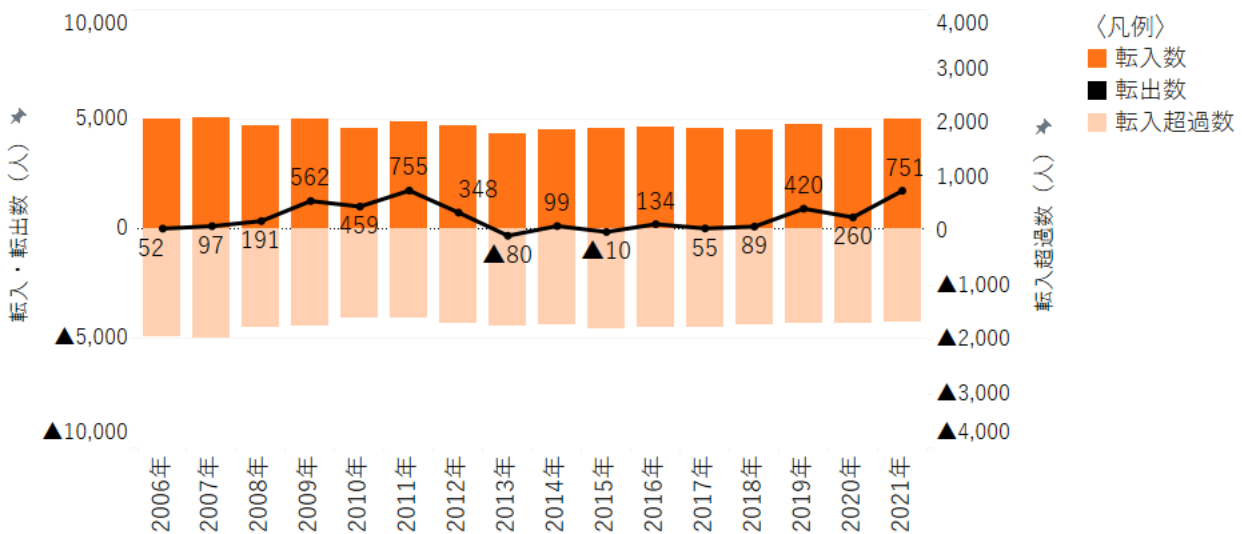


図13-10 転入超過数の推移（西日本）

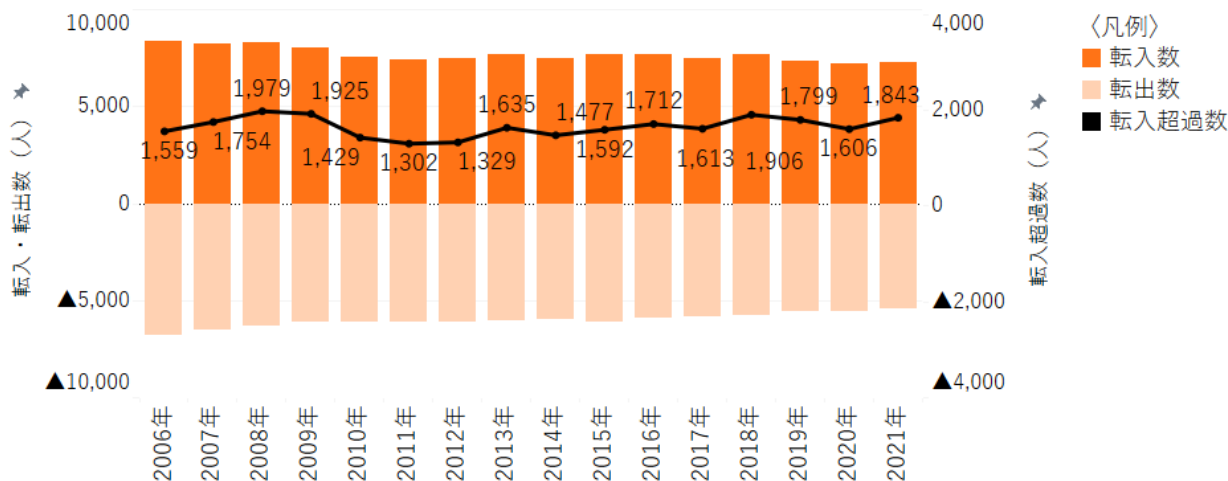
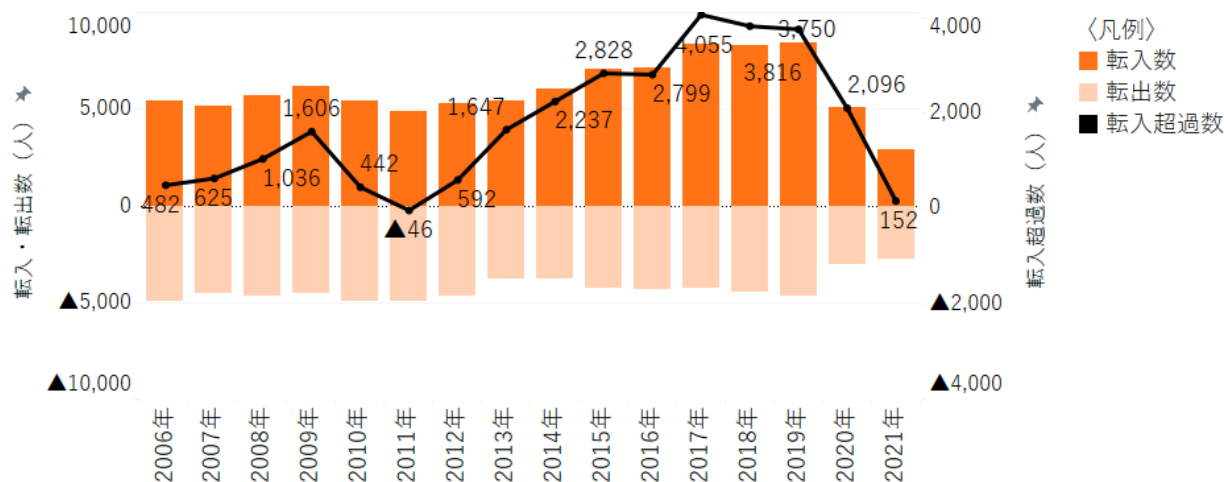


図13-11 転入超過数の推移（国外）

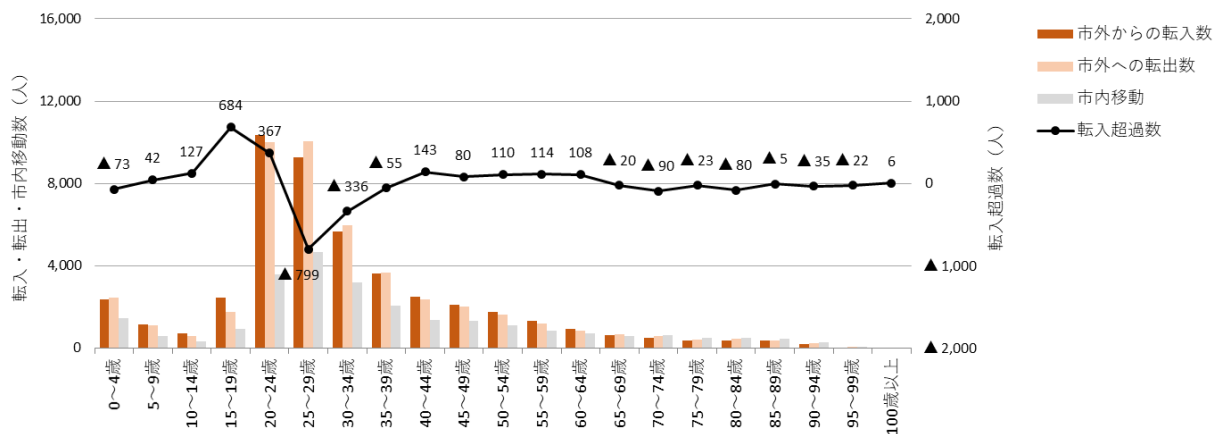


資料：神戸市ホームページ「人口動態」の『相手地域別転入超過数』（図13-1～11）

（2）年齢別の状況

- 市外からの転入が最も多いのは20～24歳。市外への転出が最も多いのは25～29歳。市内移動が最も多いのは25～29歳。
- 転入超過数が最も大きいのは15～19歳。対して転出超過数が最も大きいのは25～29歳。

図14 年齢別、転入超過数



資料：後掲表「第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数」

(3) 年齢別・相手地域別の状況

- 15～19歳で転入超過となった地域は西日本、国外など。対して転出超過となった地域は東京圏など。
- 20～24歳で転入超過となった地域は東播臨海部、西日本、国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、大阪市、東京圏など。
- 25～29歳で転入超過となった地域は西日本など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、東播臨海部、大阪市、東京圏、国外など。

図15-1 年齢別、転入超過数（阪神間6市）

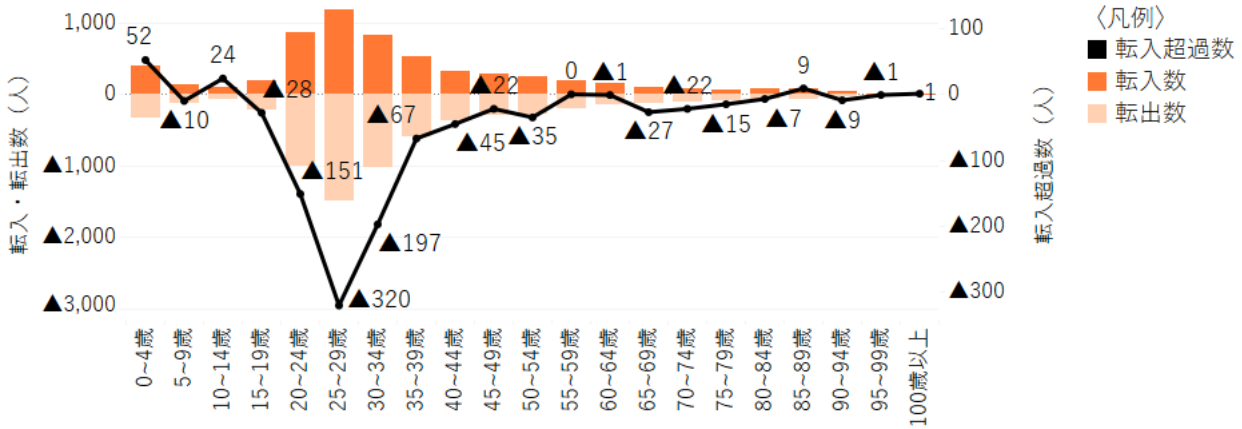


図15-2 年齢別、転入超過数（東播臨海部）

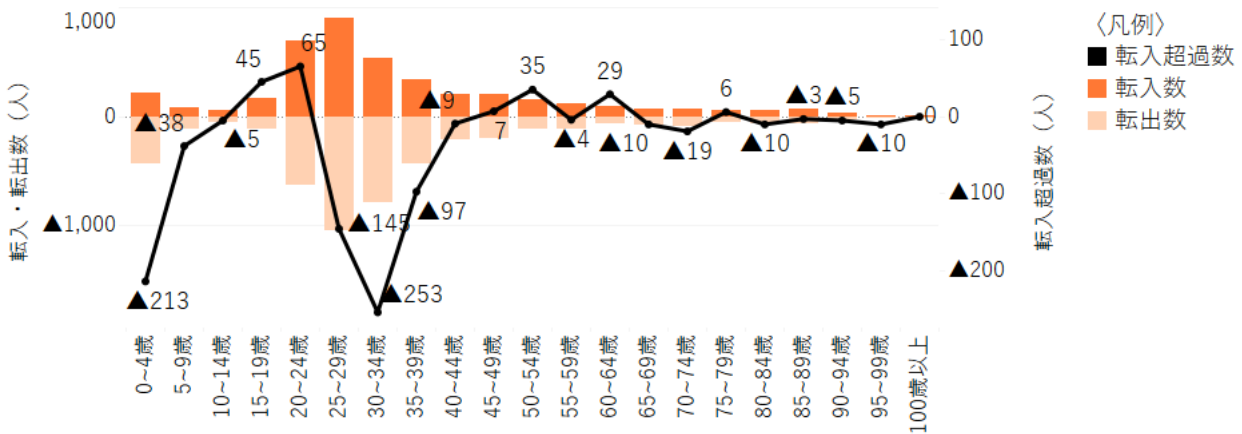


図15-3 年齢別、転入超過数（大阪市）

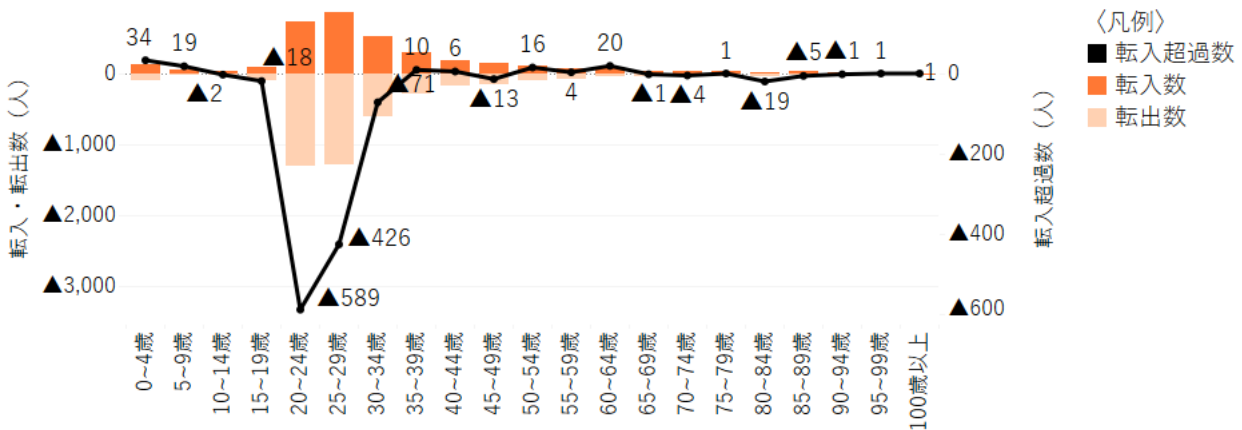


图15-4 年齢別、転入超過数（東京圏）

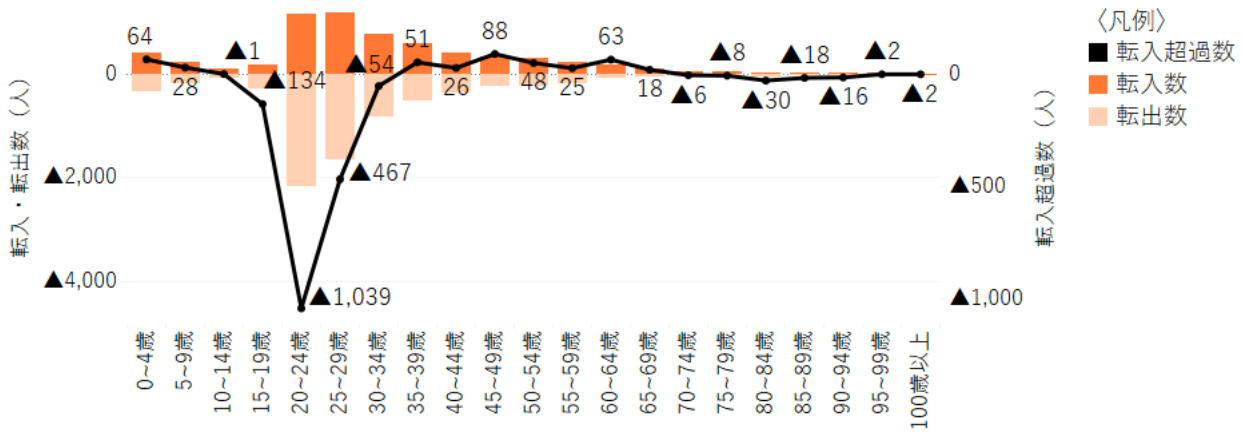


图15-5 年齢別、転入超過数（西日本）

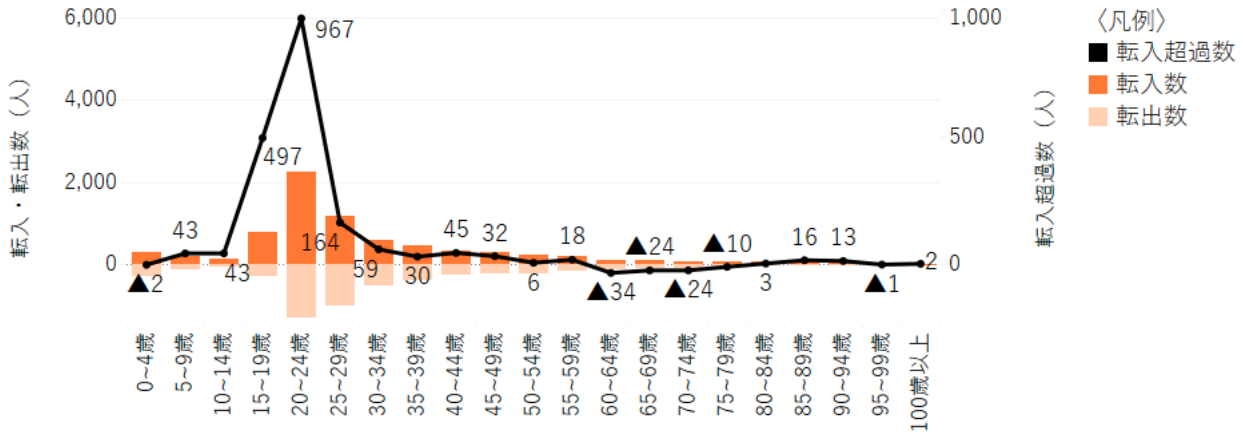
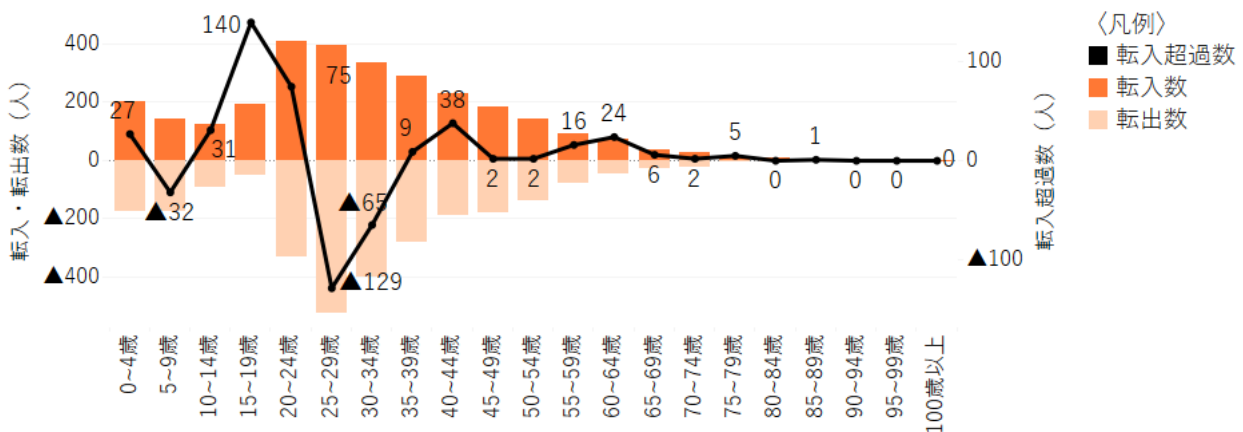


图15-6 年齢別、転入超過数（国外）



資料：後掲表『第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数』（图15-1~6）

IV 参考表

表1 人口の動きの推移

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区		長田区	須磨区	須磨区		垂水区	西区	
						北本区	北神			須磨本区	北須磨			
人口増減数（人口動態）														
2006年	3,075	1,114	635	1,840	227	138	▲ 533	671	▲ 486	▲ 1,561	▲ 530	▲ 1,031	▲ 1,142	2,310
2007年	980	▲ 204	555	663	▲ 44	137	▲ 626	763	▲ 558	▲ 1,037	▲ 206	▲ 831	▲ 638	2,106
2008年	3,310	1,279	608	1,519	866	▲ 170	▲ 1,012	842	▲ 594	▲ 329	707	▲ 1,036	▲ 436	567
2009年	3,436	532	1,171	1,423	369	380	▲ 486	866	▲ 714	▲ 66	705	▲ 771	162	179
2010年	842	603	687	937	▲ 515	231	▲ 695	926	▲ 317	▲ 1,124	40	▲ 1,164	263	77
2011年	501	839	704	1,167	▲ 491	▲ 452	▲ 1,131	679	▲ 595	▲ 743	236	▲ 979	▲ 114	186
2012年	▲ 2,846	760	325	672	▲ 873	▲ 882	▲ 1,331	449	▲ 1,423	▲ 1,532	▲ 305	▲ 1,227	40	67
2013年	▲ 1,507	986	451	1,204	▲ 216	▲ 1,478	▲ 1,392	▲ 86	▲ 633	▲ 545	81	▲ 626	▲ 323	▲ 953
2014年	▲ 3,005	392	931	811	▲ 242	▲ 1,832	▲ 1,505	▲ 327	▲ 506	▲ 412	261	▲ 673	▲ 642	▲ 1,505
2015年	▲ 2,121	820	258	1,704	334	▲ 1,992	▲ 1,608	▲ 384	▲ 941	▲ 1,314	▲ 529	▲ 785	13	▲ 1,003
2016年	▲ 2,320	▲ 73	433	2,449	▲ 117	▲ 1,781	▲ 1,262	▲ 519	▲ 654	▲ 1,178	▲ 188	▲ 990	▲ 531	▲ 868
2017年	▲ 3,470	286	363	1,736	86	▲ 1,921	▲ 1,438	▲ 483	▲ 703	▲ 1,012	▲ 210	▲ 802	▲ 751	▲ 1,554
2018年	▲ 5,052	▲ 26	▲ 295	1,576	146	▲ 2,183	▲ 1,763	▲ 420	▲ 749	▲ 1,002	▲ 316	▲ 686	▲ 1,095	▲ 1,424
2019年	▲ 4,366	287	146	1,160	31	▲ 1,722	▲ 1,708	▲ 14	▲ 553	▲ 929	▲ 121	▲ 808	▲ 1,091	▲ 1,695
2020年	▲ 6,683	▲ 900	▲ 566	1,132	▲ 232	▲ 1,331	▲ 1,227	▲ 104	▲ 912	▲ 547	393	▲ 940	▲ 1,585	▲ 1,742
2021年	▲ 9,090	▲ 834	▲ 298	▲ 387	▲ 468	▲ 1,087	▲ 1,001	▲ 86	▲ 729	▲ 980	▲ 263	▲ 717	▲ 2,165	▲ 2,142
自然増減数（自然動態）														
2006年	236	655	46	▲ 179	▲ 344	▲ 15	▲ 176	161	▲ 450	▲ 163	▲ 143	▲ 20	96	590
2007年	▲ 181	564	▲ 28	▲ 218	▲ 426	74	▲ 143	217	▲ 546	▲ 104	▲ 86	▲ 18	▲ 88	591
2008年	▲ 513	437	34	▲ 161	▲ 512	▲ 29	▲ 246	217	▲ 600	▲ 198	▲ 144	▲ 54	▲ 48	564
2009年	▲ 508	493	▲ 15	▲ 221	▲ 439	▲ 2	▲ 219	217	▲ 610	▲ 149	▲ 93	▲ 56	▲ 34	469
2010年	▲ 1,479	407	38	▲ 215	▲ 591	▲ 120	▲ 244	124	▲ 604	▲ 349	▲ 137	▲ 212	▲ 311	266
2011年	▲ 1,642	267	▲ 1	▲ 128	▲ 545	▲ 197	▲ 335	138	▲ 697	▲ 312	▲ 128	▲ 184	▲ 259	230
2012年	▲ 2,473	281	▲ 114	▲ 201	▲ 615	▲ 384	▲ 470	86	▲ 839	▲ 475	▲ 225	▲ 250	▲ 345	219
2013年	▲ 2,586	360	▲ 32	▲ 159	▲ 695	▲ 462	▲ 532	70	▲ 771	▲ 416	▲ 137	▲ 279	▲ 472	61
2014年	▲ 2,863	113	▲ 164	▲ 149	▲ 559	▲ 521	▲ 550	29	▲ 821	▲ 391	▲ 109	▲ 282	▲ 352	▲ 19
2015年	▲ 3,435	156	▲ 98	▲ 143	▲ 622	▲ 714	▲ 652	▲ 62	▲ 783	▲ 501	▲ 180	▲ 321	▲ 573	▲ 157
2016年	▲ 3,594	74	▲ 88	▲ 102	▲ 568	▲ 765	▲ 677	▲ 88	▲ 834	▲ 548	▲ 231	▲ 317	▲ 480	▲ 283
2017年	▲ 4,110	21	▲ 150	▲ 77	▲ 631	▲ 809	▲ 640	▲ 169	▲ 849	▲ 638	▲ 271	▲ 367	▲ 545	▲ 432
2018年	▲ 5,074	▲ 94	▲ 290	▲ 164	▲ 649	▲ 983	▲ 754	▲ 229	▲ 916	▲ 699	▲ 358	▲ 341	▲ 673	▲ 606
2019年	▲ 5,645	▲ 150	▲ 381	▲ 171	▲ 626	▲ 1,100	▲ 887	▲ 213	▲ 885	▲ 797	▲ 364	▲ 433	▲ 822	▲ 713
2020年	▲ 6,064	▲ 277	▲ 405	▲ 113	▲ 644	▲ 1,044	▲ 831	▲ 213	▲ 943	▲ 766	▲ 304	▲ 462	▲ 1,011	▲ 861
2021年	▲ 8,026	▲ 556	▲ 446	▲ 337	▲ 878	▲ 1,294	▲ 946	▲ 348	▲ 1,068	▲ 971	▲ 408	▲ 563	▲ 1,376	▲ 1,100
社会増減数（社会動態）														
2006年	2,839	459	589	2,019	571	153	▲ 357	510	▲ 36	▲ 1,398	▲ 387	▲ 1,011	▲ 1,238	1,720
2007年	1,161	▲ 768	583	881	382	63	▲ 483	546	▲ 12	▲ 933	▲ 120	▲ 813	▲ 550	1,515
2008年	3,823	842	574	1,680	1,378	▲ 141	▲ 766	625	6	▲ 131	851	▲ 982	▲ 388	3
2009年	3,944	39	1,186	1,644	808	382	▲ 267	649	▲ 104	83	798	▲ 715	196	▲ 290
2010年	2,321	196	649	1,152	76	351	▲ 451	802	287	▲ 775	177	▲ 952	574	▲ 189
2011年	2,143	572	705	1,295	54	▲ 255	▲ 796	541	102	▲ 431	364	▲ 795	145	▲ 44
2012年	▲ 373	479	439	873	▲ 258	▲ 498	▲ 861	363	▲ 584	▲ 1,057	▲ 80	▲ 977	385	▲ 152
2013年	1,079	626	483	1,363	479	▲ 1,016	▲ 860	▲ 156	138	▲ 129	218	▲ 347	149	▲ 1,014
2014年	▲ 142	279	1,095	960	317	▲ 1,311	▲ 955	▲ 356	315	▲ 21	370	▲ 391	▲ 290	▲ 1,486
2015年	1,314	664	356	1,847	956	▲ 1,278	▲ 956	▲ 322	▲ 158	▲ 813	▲ 349	▲ 464	586	▲ 846
2016年	1,274	▲ 147	521	2,551	451	▲ 1,016	▲ 585	▲ 431	180	▲ 630	43	▲ 673	▲ 51	▲ 585
2017年	640	265	513	1,813	717	▲ 1,112	▲ 798	▲ 314	146	▲ 374	61	▲ 435	▲ 206	▲ 1,122
2018年	22	68	▲ 5	1,740	795	▲ 1,200	▲ 1,009	▲ 191	167	▲ 303	42	▲ 345	▲ 422	▲ 818
2019年	1,279	437	527	1,331	657	▲ 622	▲ 821	199	332	▲ 132	243	▲ 375	▲ 269	▲ 982
2020年	▲ 619	▲ 623	▲ 161	1,245	412	▲ 287	▲ 396	109	31	219	697	▲ 478	▲ 574	▲ 881
2021年	▲ 1,064	▲ 278	148	▲ 50	410	207	▲ 55	262	339	▲ 9	145	▲ 154	▲ 789	▲ 1,042

注) 社会増減数については、北区の北本区と北神、須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

表2 2021年月別人口の動き

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	北区		長田区	須磨区	須磨区		垂水区	西区
							北本区	北神			須磨本区	北須磨		
人口増減数														
1月中	▲1,156	▲71	▲54	▲85	▲122	▲165	▲89	▲76	▲91	▲95	▲38	▲57	▲294	▲179
2月中	▲1,241	▲82	▲113	▲186	▲73	▲145	▲98	▲47	▲65	▲127	▲50	▲77	▲221	▲229
3月中	▲1,800	▲523	▲176	289	79	▲337	▲311	▲26	▲62	▲177	▲42	▲135	▲295	▲598
4月中	1,245	479	202	423	96	8	▲52	60	19	67	▲18	85	▲28	▲21
5月中	▲834	▲144	▲55	▲46	▲29	▲123	▲74	▲49	▲55	▲56	▲5	▲51	▲175	▲151
6月中	▲947	▲169	▲27	▲81	▲166	▲47	▲52	5	▲79	▲46	▲20	▲26	▲226	▲106
7月中	▲529	▲66	45	▲122	▲63	▲22	▲33	11	▲62	▲5	39	▲44	▲207	▲27
8月中	▲692	▲77	16	▲120	▲73	▲40	▲32	▲8	71	▲118	▲42	▲76	▲126	▲225
9月中	▲1,077	▲100	▲47	▲190	▲70	▲60	▲80	20	▲123	▲92	▲41	▲51	▲193	▲202
10月中	▲723	17	▲69	▲150	▲45	▲45	▲86	41	▲60	▲143	▲42	▲101	▲95	▲133
11月中	▲443	11	▲13	25	45	▲32	▲20	▲12	▲101	▲84	9	▲93	▲158	▲136
12月中	▲893	▲109	▲7	▲144	▲47	▲79	▲74	▲5	▲121	▲104	▲13	▲91	▲147	▲135
年合計	▲9,090	▲834	▲298	▲387	▲468	▲1,087	▲1,001	▲86	▲729	▲980	▲263	▲717	▲2,165	▲2,142
自然増減数														
1月中	▲1,072	▲95	▲81	▲64	▲101	▲145	▲99	▲46	▲106	▲143	▲57	▲86	▲190	▲147
2月中	▲774	▲51	▲71	▲15	▲90	▲136	▲100	▲36	▲104	▲99	▲47	▲52	▲107	▲101
3月中	▲824	▲73	▲31	▲55	▲93	▲128	▲95	▲33	▲114	▲112	▲38	▲74	▲140	▲78
4月中	▲699	▲36	▲45	▲32	▲85	▲118	▲79	▲39	▲107	▲60	▲23	▲37	▲126	▲90
5月中	▲878	▲102	▲52	▲59	▲94	▲127	▲94	▲33	▲101	▲74	▲43	▲31	▲169	▲100
6月中	▲587	▲45	▲16	▲29	▲83	▲74	▲49	▲25	▲105	▲67	▲41	▲26	▲102	▲66
7月中	▲374	▲5	▲10	1	▲45	▲78	▲66	▲12	▲48	▲63	▲27	▲36	▲93	▲33
8月中	▲565	▲26	▲33	▲16	▲51	▲80	▲69	▲11	▲63	▲93	▲33	▲60	▲110	▲93
9月中	▲497	▲22	▲19	▲14	▲39	▲81	▲58	▲23	▲81	▲63	▲26	▲37	▲101	▲77
10月中	▲446	11	▲12	▲12	▲57	▲79	▲72	▲7	▲84	▲70	▲26	▲44	▲63	▲80
11月中	▲560	▲34	▲38	▲1	▲43	▲102	▲78	▲24	▲68	▲57	▲27	▲30	▲95	▲122
12月中	▲750	▲78	▲38	▲41	▲97	▲146	▲87	▲59	▲87	▲70	▲20	▲50	▲80	▲113
年合計	▲8,026	▲556	▲446	▲337	▲878	▲1,294	▲946	▲348	▲1,068	▲971	▲408	▲563	▲1,376	▲1,100
社会増減数														
1月中	▲84	24	27	▲21	▲21	▲20	10	▲30	15	48	19	29	▲104	▲32
2月中	▲467	▲31	▲42	▲171	17	▲9	2	▲11	39	▲28	▲3	▲25	▲114	▲128
3月中	▲976	▲450	▲145	344	172	▲209	▲216	7	52	▲65	▲4	▲61	▲155	▲520
4月中	1,944	515	247	455	181	126	27	99	126	127	5	122	98	69
5月中	44	▲42	▲3	13	65	4	20	▲16	46	18	38	▲20	▲6	▲51
6月中	▲360	▲124	▲11	▲52	▲83	27	▲3	30	26	21	21	0	▲124	▲40
7月中	▲155	▲61	55	▲123	▲18	56	33	23	▲14	58	66	▲8	▲114	6
8月中	▲127	▲51	49	▲104	▲22	40	37	3	134	▲25	▲9	▲16	▲16	▲132
9月中	▲580	▲78	▲28	▲176	▲31	21	▲22	43	▲42	▲29	▲15	▲14	▲92	▲125
10月中	▲277	6	▲57	▲138	12	34	▲14	48	24	▲73	▲16	▲57	▲32	▲53
11月中	117	45	25	26	88	70	58	12	▲33	▲27	36	▲63	▲63	▲14
12月中	▲143	▲31	31	▲103	50	67	13	54	▲34	▲34	7	▲41	▲67	▲22
年合計	▲1,064	▲278	148	▲50	410	207	▲55	262	339	▲9	145	▲154	▲789	▲1,042

注) 社会増減数については、北区の北本区と北神、須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

表3 日本人・外国人別人口の動きの推移

(単位：人)

年次	日本人			外国人		
	人口増減数	自然増減数	社会増減数	人口増減数	自然増減数	社会増減数
2014年	▲ 3,219	▲ 2,792	▲ 427	214	▲ 71	285
2015年	▲ 3,420	▲ 3,364	▲ 56	1,299	▲ 71	1,370
2016年	▲ 3,497	▲ 3,541	44	1,177	▲ 53	1,230
2017年	▲ 5,197	▲ 4,038	▲ 1,159	1,727	▲ 72	1,799
2018年	▲ 6,329	▲ 5,037	▲ 1,292	1,277	▲ 37	1,314
2019年	▲ 5,645	▲ 5,597	▲ 48	1,279	▲ 48	1,327
2020年	▲ 5,635	▲ 6,018	383	▲ 1,048	▲ 46	▲ 1,002
2021年	▲ 8,077	▲ 7,953	▲ 124	▲ 1,013	▲ 73	▲ 940
東灘区	▲ 873	▲ 588	▲ 285	39	32	7
灘区	▲ 116	▲ 440	324	▲ 182	▲ 6	▲ 176
中央区	135	▲ 330	465	▲ 522	▲ 7	▲ 515
兵庫区	▲ 281	▲ 904	623	▲ 187	26	▲ 213
北区	▲ 1,143	▲ 1,287	144	56	▲ 7	63
長田区	▲ 548	▲ 996	448	▲ 181	▲ 72	▲ 109
須磨区	▲ 929	▲ 954	25	▲ 51	▲ 17	▲ 34
垂水区	▲ 2,164	▲ 1,369	▲ 795	▲ 1	▲ 7	6
西区	▲ 2,158	▲ 1,085	▲ 1,073	16	▲ 15	31

表4 自然動態の推移

(単位：人，%)

年次・区	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	a)
							人口 (10月1日現在)
2006年	236	12,984	12,748	0.15	8.49	8.33	1,529,817
2007年	▲ 181	12,792	12,973	▲ 0.12	8.35	8.47	1,532,428
2008年	▲ 513	12,878	13,391	▲ 0.33	8.38	8.72	1,536,433
2009年	▲ 508	12,981	13,489	▲ 0.33	8.42	8.75	1,541,214
2010年	▲ 1,479	12,979	14,458	▲ 0.96	8.40	9.36	1,544,200
2011年	▲ 1,642	12,954	14,596	▲ 1.06	8.38	9.45	1,544,970
2012年	▲ 2,473	12,636	15,109	▲ 1.60	8.19	9.79	1,543,075
2013年	▲ 2,586	12,437	15,023	▲ 1.68	8.07	9.75	1,541,169
2014年	▲ 2,863	12,218	15,081	▲ 1.86	7.94	9.79	1,539,755
2015年	▲ 3,435	12,140	15,575	▲ 2.23	7.90	10.13	1,537,272
2016年	▲ 3,594	12,124	15,718	▲ 2.34	7.89	10.22	1,537,467
2017年	▲ 4,110	11,565	15,675	▲ 2.68	7.53	10.21	1,535,559
2018年	▲ 5,074	10,711	15,785	▲ 3.31	6.99	10.30	1,532,515
2019年	▲ 5,645	10,468	16,113	▲ 3.69	6.84	10.53	1,529,756
2020年	▲ 6,064	10,100	16,164	▲ 3.98	6.62	10.60	1,525,152
2021年	▲ 8,026	9,537	17,563	▲ 5.29	6.29	11.58	1,517,073
東灘区	▲ 556	1,484	2,040	▲ 2.62	6.98	9.60	212,599
灘区	▲ 446	967	1,413	▲ 3.27	7.08	10.35	136,534
中央区	▲ 337	1,079	1,416	▲ 2.28	7.31	9.59	147,627
兵庫区	▲ 878	676	1,554	▲ 8.07	6.21	14.28	108,853
北区	▲ 1,294	1,146	2,440	▲ 6.18	5.47	11.65	209,357
本区	▲ 946	634	1,580	…	…	…	…
北神	▲ 348	512	860	…	…	…	…
長田区	▲ 1,068	558	1,626	▲ 11.33	5.92	17.25	94,250
須磨区	▲ 971	986	1,957	▲ 6.15	6.24	12.39	157,962
本区	▲ 408	502	910	…	…	…	…
北須磨	▲ 563	484	1,047	…	…	…	…
垂水区	▲ 1,376	1,359	2,735	▲ 6.46	6.38	12.83	213,132
西区	▲ 1,100	1,282	2,382	▲ 4.65	5.41	10.06	236,759

注) 自然増減率，出生率，死亡率は，各年10月1日現在の人口1,000人当たりの率である。

2006年～2009年，2011年～2014年，2016年～2019年は，それぞれ2005年，2010年，2015年，2020年に実施した国勢調査の確定数を基に修正した修正推計人口である。

北区の本区・北神、須磨区の本区・北須磨の人口は本報告書作成時点では未集計。

a) 2010年，2015年，2020年は国勢調査結果，それ以外は推計人口である。